

植物成長調整剤

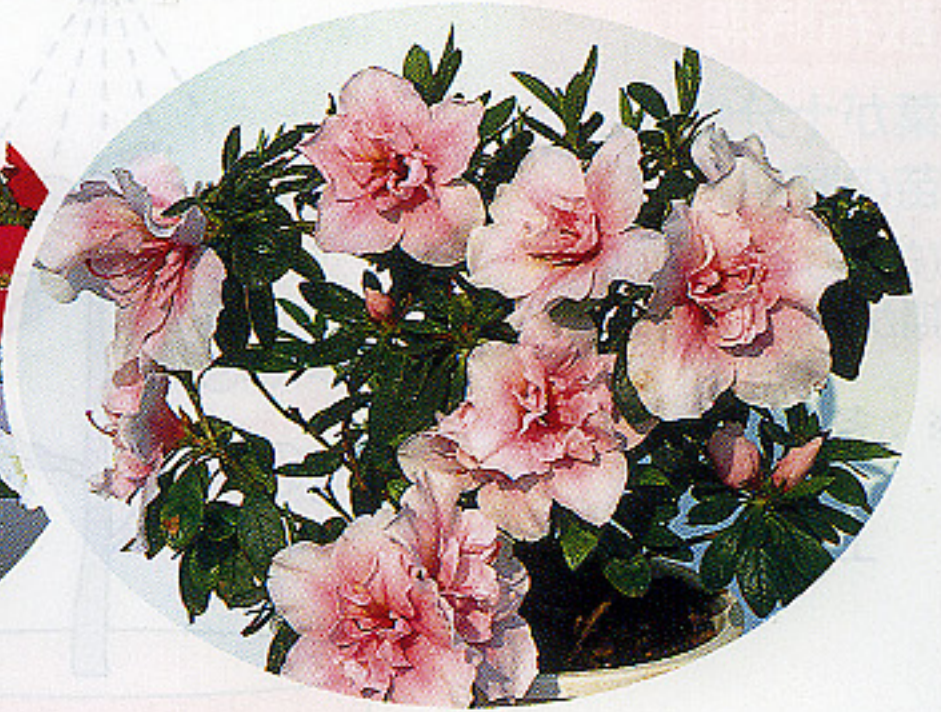
ピナーニン

水溶剤80

ダミノジッド……80.0%



花の伸び過ぎ防止に!



■適用作物および使用方法

作物名	使用目的	希釈倍数(倍)	使用薬量(g/10ℓ)	使用時期・方法
ポインセチア	節間伸長調節による伸長抑制	100～200	50～100	定植後3～30日の間に散布
ハイドラングア(あじさい)				
きく		200～400	25～50	(大輪ぎく) 摘芯10日後または定植後3日目に1回、さらにその後30日間隔で1～2回散布 (小中輪ぎく) 摘芯後7日目～初蕾初期に散布
はぼたん		100～200	50～100	定植後3日目に散布
ペチュニア				定植後2週間目に散布
アザレア(つつじ)		150～200	50～67	摘芯後30～40日の間に散布
あさがお		400～800	12.5～25	本葉5～7枚のときに散布

■特長

- ①花類の生長点を中心に葉面散布することにより、その後の生長を抑え草丈を短くすることができます。
- ②花類の節間伸長だけを抑制し、開花の時期、花や葉の大きさ、結実などには影響がありません。

■上手な使い方

■散布時期※

葉が十分生育した苗の時期。
(花木などは若葉の時期が適しています。)

※：各作物により多少異なります。
上表を参照ください。



■散布方法

作物の生長点を中心に葉面散布。

花卉の伸長抑制に使用する場合、種類、濃度等によって効果の持続時間が異なるので、必要に応じて繰り返し散布してください。

⚠使用上の注意事項

- 1.銅製剤との混用・近接散布は薬害を起こすので、避けてください。銅製剤散布前の使用は3日前までに散布を終わってください。銅製剤散布後の使用は1か月以上の間隔をあけてください。
- 2.銅製剤を調製した容器や散布に用いた器具は、薬害のおそれがあるので十分に洗浄してから使用してください。
- 3.調製の際は水に展着剤(ラビデン3S)を入れ、次に本剤を加えよくかきまぜて、完全に溶かしてから使用してください。
- 4.本剤は植物成長調整剤なので、乱用すると生育に悪影響を及ぼすので、所定の方法を必ず守ってください。
- 5.使用にあたっては、濃度・時期など使用方法について病害虫防除所など関係機関の指導を受けようとしてください。
- 6.本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当てを受けてください。
- 7.散布の際は農薬用マスク・手袋などを着用してください。作業後は顔・手足など皮ふの露出部分を石けんでよく洗い、うがいをしてください。
- 8.使用残りの薬剤は密封し、直射日光を避け、食品と区別して、小児の手の届かない冷涼・乾燥した所に保管してください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。



日本曹達株式会社

本社 〒100-8165 東京都千代田区大手町2丁目2番1号
 ☎(03)3245-6178 FAX(03)3245-6084
 ホームページアドレス <http://www.nippon-soda.co.jp/nougyo/>
 大阪支店 ☎(06)6229-7343 東京営業所 ☎(03)3279-6961
 札幌営業所 ☎(011)241-5581 名古屋営業所 ☎(052)238-0003
 仙台営業所 ☎(022)227-1741 福岡営業所 ☎(092)771-1336
 信越営業所 ☎(0255)81-2323 四国出張所 ☎(089)931-7315